Pioneer

ファイルタイプＣＤプレーヤー

PD-F1007

取扱説明書





安全に正しくお使いいただくために

パイオニアの製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書と安全上のご注意をよくお読みください。
特に**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
後々お役に立つこともありますので「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

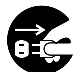

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。


⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

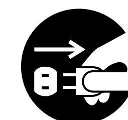

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

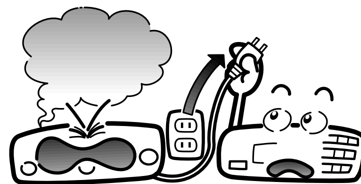
安全上のご注意 付属の「安全上のご注意」もお読みください。

⚠警告

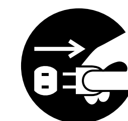
〔異常時の処置〕

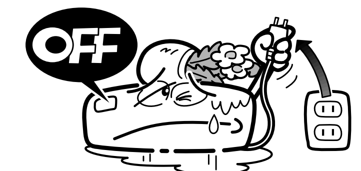
●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。


プラグを抜け

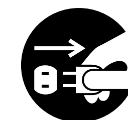


●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


プラグを抜け



●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


プラグを抜け



お使いになる前に

こんなことができます

ルーレットラック方式の新型メカを搭載したことにより、301枚のディスクが収納可能

シングルローダー方式による1枚割り込み再生が可能(➡ 12ページ)

本機をもう一台接続可能(➡ 7ページ)

本機をもう一台接続することにより、602枚CDチェンジャーとして使用可能。ディスクの枚数が増えてもコントロールが可能です。

CD テキスト対応により、ディスクタイトルを自動的に登録・表示

タイトル入力に加え、CDテキスト対応でディスクの管理が簡単にできます。

チェンジャー動作を最大限に活かす、豊富なお手軽機能を搭載

3つの演奏モード（オール、シングル、カスタム）を搭載。また、本体にジョグダイヤルを設けることで、ディスクの選択やタイトルの入力などの操作性も向上させています。

Hi-bit・レガート・リンクコンバージョン

「レガート・リンク・コンバージョン」で再生周波数の広帯域化を実現し、「Hi-bit」で、ディスクに記録されている16ビットデータを24ビットに再量子化して、より滑らかで繊細な音楽表現を可能にしました。この結果、CDの枠を越えた、よりいっそうの原音に近い音楽再生を可能にしています。

ディスク有無判別機能

フードを閉めると、自動的にディスク挿着溝のディスクの有無を判別します。

省エネルギー設計製品

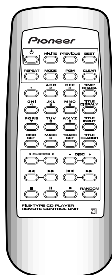
本製品は電源オフ時（スタンバイ時）の消費電力を抑えた設計となっております。スタンバイ時消費電力値は27ページの仕様欄を参照ください。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

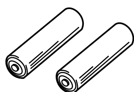
もくじ

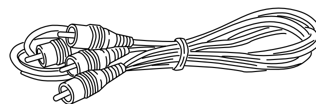
お使いになる前に

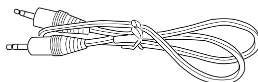
付属品



リモートコントロールユニット

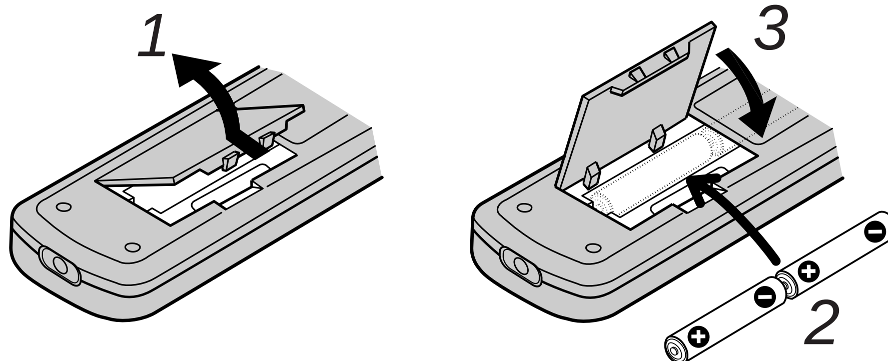

単3形乾電池(AA/R6P).............2個


出力コード


コントロールコード

●保証書
●ご相談窓口・修理窓口のご案内
●取扱説明書（本書）
●安全上のご注意

リモコンに電池を入れる



1. 裏ぶたを開けます。

2. 内部の表示（⊕、⊖)のとおりに単3形乾電池を入れます。

3. 裏ぶたを閉めます。

⚠注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（乾電池の注意事項もよく見てください。）

- ●乾電池のプラス（⊕）とマイナス（⊖)の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- ●新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ●乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ●長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

接続のしかた

パイオニアの🄬マークの付いた機器のコントロール入力端子に接続します。
Ⓓ 付属のコントロールコード
ステレオアンプ
Ⓐ 付属の出力コード
白 赤 赤 白
Ⓒ-2 市販の光ファイバーケーブル
DIGITAL OPTICAL IN
カセットデッキ
CD-DECK SYNCHRO
Ⓔ CD・DECKシンクロコード
（本機には付属していません。カセットデッキに付属しています。）
Ⓒ-1 防塵キャップ
PD-F1007
Ⓑ



機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合は、ディスクをすべて取り出した状態で必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

基本の接続

この接続を行うと、ステレオアンプから音を出すことができます。

Ⓐステレオアンプへの接続

本機のLINE OUT端子とステレオアンプのCDまたはAUX端子を、付属の出力コードで接続してください。ステレオアンプの端子の色（白が左、赤が右）に合わせて接続します。**ステレオアンプのレコードプレーヤー用入力端子(PHONO)には絶対に接続しないでください。**

Ⓑ壁のコンセントへの接続

必ず最後に接続してください。

応用の接続

Ⓒ光デジタル端子の接続

光デジタル入力端子を持ったステレオアンプや録音機器、またはD/Aコンバーターに接続します。

1 **光デジタル出力端子の防塵キャップを引き抜く。**

2 **本機の光デジタル出力端子と接続する機器の光デジタル入力端子を市販の光ファイバーケーブルで接続する。**

- 光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかりと差し込みます。光デジタル端子の接続には、市販の光ファイバーケーブルを使いますが、本機と同じタイプの光送信／受信モジュールを使用している機器だけを接続できます。
- 光デジタル端子を使用しないときは、必ず防塵キャップを取り付けてください。

Ⓓコントロール端子の接続

コントロール出力端子を持つパイオニア製ステレオアンプなどと接続できます。詳しくは、ステレオアンプの取扱説明書をご覧ください。

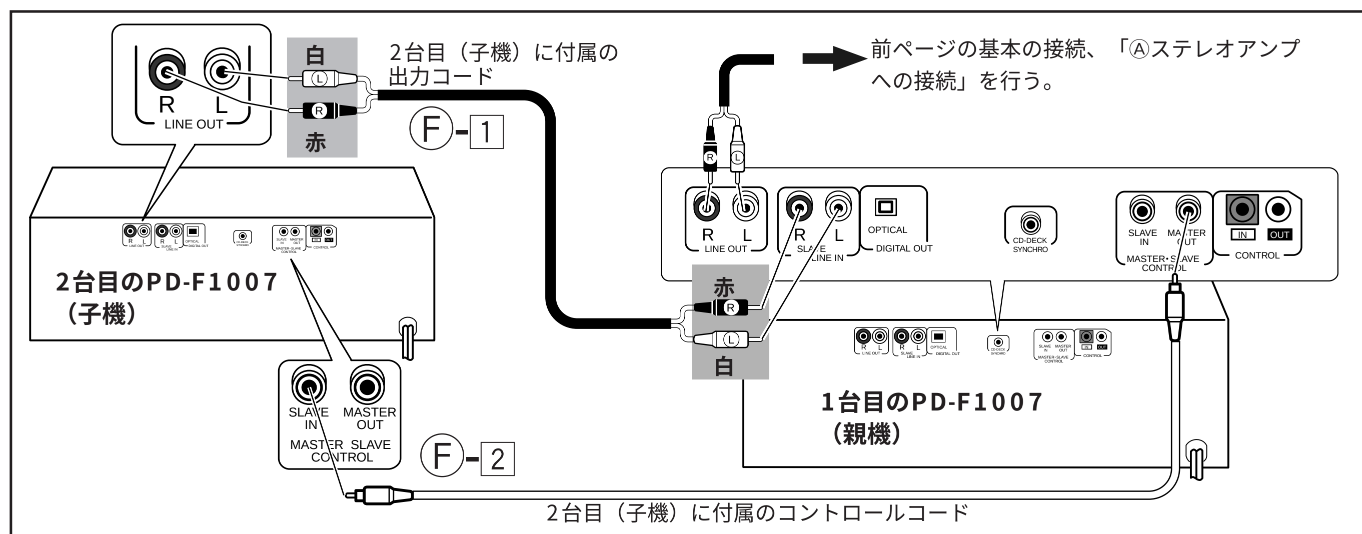
1. **本機のコントロール入力端子とステレオアンプのコントロール出力端子を付属のコントロールコードで接続する。**
2. **「基本の接続」の、「Ⓐステレオアンプへの接続」を行う。**

- 本機のコントロール入力端子に接続をすると、本機ではリモコンを受け付けません。リモコンは、コントロール端子の接続をしたステレオアンプに向けて操作してください。

ⒺCD・DECK シンクロ端子の接続

CD・DECK SYNCHRO端子のあるパイオニア製カセットデッキと接続すると、ディスクからテープへの編集録音ができます。詳しくは、カセットデッキの取扱説明書をご覧ください。

- CD・DECKシンクロコードは付属していません。カセットデッキに付属しています。
- 光デジタル出力端子のみを接続した場合は、CD・DECKシンクロ録音できません。シンクロ録音する場合は、CD・DECKシンクロ端子の接続も行ってください。
- 本機で複数のディスクにわたってCD・DECKシンクロ録音機能を使用する場合、曲をプログラムしてプログラム演奏をしてください。
  （プログラム演奏については、15ページを参照してください。）



Ⓕ もう1台のPD-F1007との接続

この接続を行うと、2台目のPD-F1007から1台目のPD-F1007へ音声信号が出力されます。また、2台目のPD-F1007にセットされたディスクは、301〜600番として表示されますので、2台合わせて、1台の602枚CDチェンジャーとして操作できます。
もちろん、1つのリモコンで全ての操作が可能です。

1 **1台目のPD-F1007（親機）のSLAVE LINE IN端子と2台目のPD-F1007（子機）のLINE OUT端子を2台目（子機）に付属の出力コードで接続する。**

2 **1台目のPD-F1007（親機）のMASTER OUT端子と2台目のPD-F1007（子機）のSLAVE IN端子を2台目（子機）に付属のコントロールコードで接続する。**

- 「Ⓒ光デジタル端子の接続」を行う場合は、親機、子機の2台ともそれぞれ接続してください。
- 2台のPD-F1007を接続する場合は、前ページの「Ⓓコントロール端子の接続」と「ⒺCD･DECKシンクロ端子の接続」は、親機だけに行ってください。
- 子機を使用しない場合は、Ⓕ-1とⒻ-2の接続で接続したコードを抜いてください。

2台のPD-F1007を接続したときの注意

ご使用上の注意

- 必ず2台とも電源を入れて使用してください。
- 子機のシングルローダーの操作は、親機やリモコンの操作で行うことはできません。子機のシングルローダーの操作を行うときは、子機の本体で行ってください。
- プログラム演奏は、接続した2台にまたがってできません。
- 2台接続したときのディスク番号は、親機が1〜300番となり、子機が301〜600番となります。また、カスタムファイルの番号は、親機が1〜10番となり、子機が11〜20番となります。

リモコン操作での注意

- リモコンでの**DISC (–/+)**、◀◀、▶▶、|◀◀、▶▶|、■、❚❚ 、▶のボタン操作は、演奏中の本体に対して行われます。

リレー再生（親機の演奏終了後、引き続き自動的に子機の演奏をする機能）

	オール演奏	シングル演奏	カスタム演奏	ランダム演奏	プログラム演奏	ベスト演奏	プリビアス演奏	ハイライトスキャン
リレー再生	○	×	×	○	×	○	○	○
全曲リピート	×	○	○	×	○	×	×	×

バックアップメモリーと本体の電源スイッチ、リモコンのスタンバイ/オンボタンとの関係について

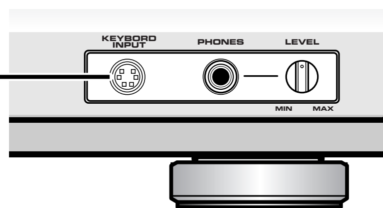
電源を切ったときに、以下の違いがあります。

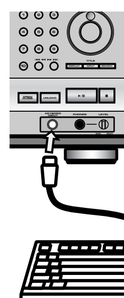
	本体内部の電源	リモコン操作	メモリーのバックアップ	スタンバイインジケーター
本体の電源スイッチ	全ての電源が切れます。	できません。	約1カ月以上たつと消えてしまいます。	消灯します。
リモコンのスタンバイスイッチ	一部の電源は通電されています。	できます。	消えることはありません。	点灯します。

* 大切なメモリーの内容を消さないためにも、電源のオン、オフにはリモコンのスタンバイ/オンボタンの使用をおすすめします。
（電源がオフの時ときに、スタンバイインジケーターが点灯している状態であれば、メモリーの内容は消えません。）

キーボードの接続について

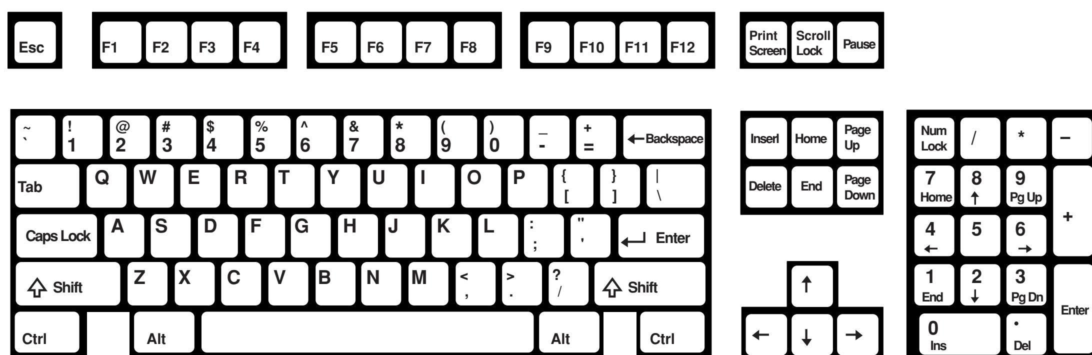
キーボード接続端子





接続端子の形状に合わせて、
接続してください。

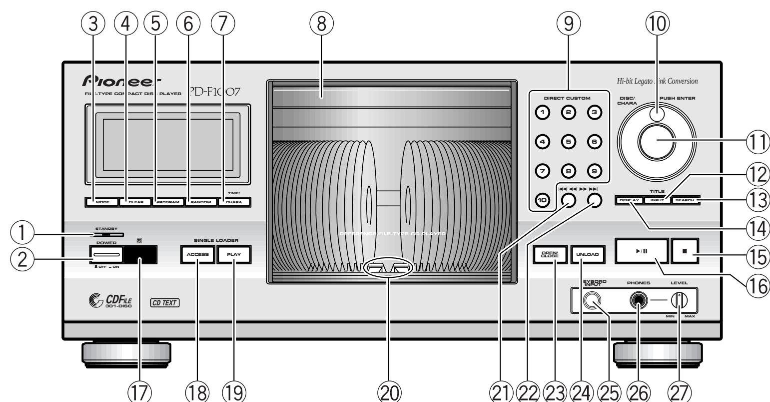
本機前面部のキーボード接続端子は、米国英語用ASCII規格キーボード用の仕様となっています。本機にキーボードを接続する場合は、市販の、IBMコンピュータと互換性のあるPCキーボードを使用してください。
また、本機のキーボード接続端子は6ピンのミニチュアDINコネクターです。キーボードを購入の際は、ご注意ください。
ご使用のキーボードのキー配列が下記の米国英語用ASCII規格キーボードのキー配列と違う場合は、下記のキー配列を参照して使用してください。



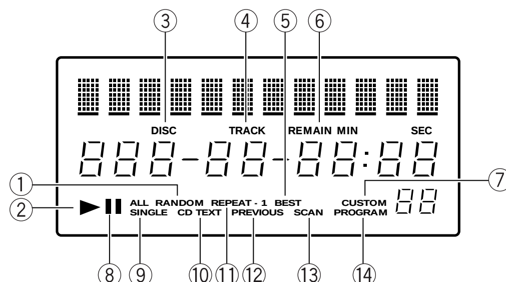
米国英語用ASCII規格キーボードのキー配列

各部のなまえ

前面部



表示部



● （　）内の数字は参照ページです。

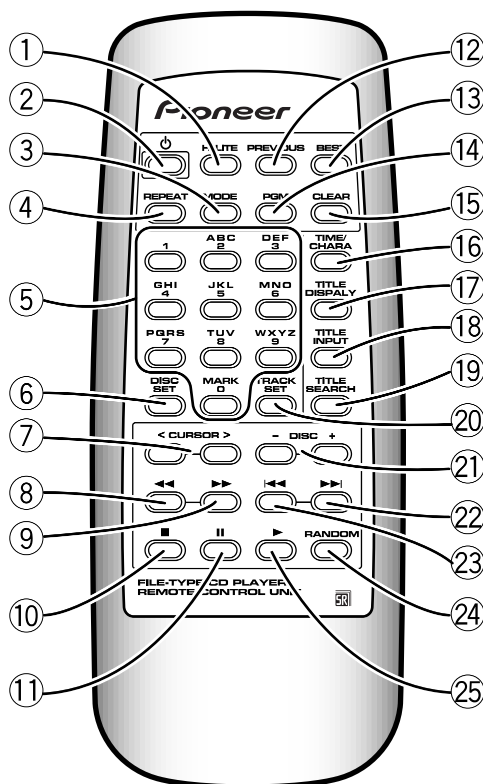
前面部

① スタンバイインジケーター[STANDBY]（10,11）
② 電源スイッチ[POWER]（10,11）
③ モードボタン [MODE]（11, 14）
④ クリアーボタン [CLEAR]（14, 16）
⑤ プログラムボタン [PROGRAM]（16）
⑥ ランダムボタン [RANDOM]（18）
⑦ タイム／キャラクタボタン[TIME/CHARA]（14, 19, 20）
⑧ フード（10）
⑨ ダイレクトカスタムボタン[DIRECT CUSTTOM](14)
⑩ ジョグダイヤル（12, 16）
⑪ エンターボタン（20, 23）
⑫ タイトル／インプットボタン[TITLE/INPUT](20, 23)
⑬ タイトル／サーチボタン[TITLE/SEARCH](24)
⑭ タイトル／ディスプレイボタン[TITLE/DISPLAY]（23）
⑮ 停止ボタン [■]（11, 16）
⑯ 再生／一時停止ボタン [▶/II]（11, 16, 19）
⑰ リモコン受光部（9）
⑱ シングルローダーアクセスボタン[SINGLE LOADER ACCESS]（12）
⑲ シングルローダープレイボタン[SINGLE LOADER PLAY]（12）
⑳ シングルローダースロット（12）
㉑ 頭出し／早戻しボタン [I◀◀◀◀]（11, 12）
㉒ 頭出し／早送りボタン [▶▶▶▶I]（11, 12）
㉓ オープン／クローズボタン[OPEN/CLOSE](10, 12)
㉔ アンロードボタン[UNLOAD]（10）
㉕ キーボード接続端子（7, 22）
㉖ ヘッドホン端子(PHONES)
ヘッドホンの標準プラグを差し込む端子です。
㉗ ヘッドホン音量調整ツマミ(PHONES LEVEL)
ヘッドホンの音量を調整します。
右に回すと音量が大きくなり、左に回すと。音量が小さくなります。

表示部

① ランダム演奏中に点灯
② 演奏中に点灯
③ ディスクスキャン時、ディスクタイトルスクロール時、ディスクタイトル入力時に点滅
④ トラックスキャン時、トラックタイトルスクロール時に点滅
⑤ ベストボタンを押すと点灯
⑥ 残量時間を表示
⑦ カスタムの登録中やカスタム演奏中に点灯
⑧ 一時停止中に点灯
⑨ 演奏の種類を選ぶと点灯
⑩ CD テキスト演奏中に点灯
⑪ リピート演奏中に点灯
⑫ プリビアスボタンを押すと点滅
⑬ ディスクスキャン時、トラックスキャン時に点灯
⑭ プログラムボタンを押すと点灯

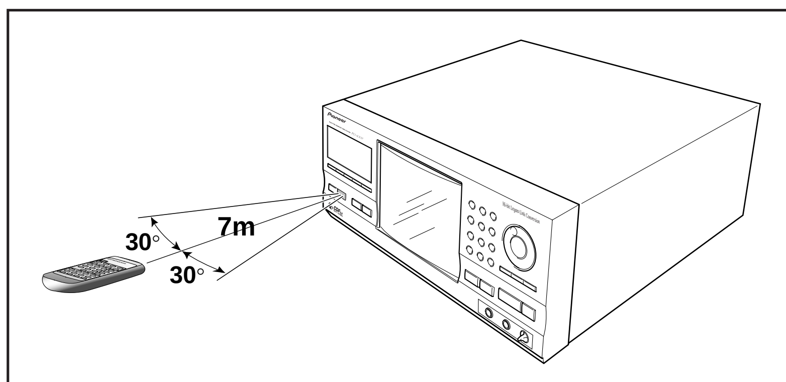
リモコン



● （　）内の数字は参照ページです。

① ハイライトボタン[**HI-LITE**] (19)
② スタンバイ/オンボタン(⏻)[**STANDBY/ON**]（10,11）
③ モードボタン [**MODE**]（11, 14）
④ リピートボタン [**REPEAT**]（18）
⑤ 数字ボタン（14, 21）
⑥ ディスクセットボタン[**DISC SET**]（11, 14, 21）
⑦ カーソルボタン[**CURSOR**]（21, 23）
⑧ 早戻しボタン [**◀◀**]（11）
⑨ 早送りボタン [**▶▶**]（11）
⑩ 停止ボタン [**■**]（11）
⑪ 一時停止ボタン [**II**]（11）
⑫ プリビアスボタン[**PREVIOUS**]（15）
⑬ ベストボタン[**BEST**](15)
⑭ プログラムボタン [**PGM**]（16）
⑮ クリアーボタン [**CLEAR**]（14）
⑯ タイム／キャラクタボタン[**TIME/CHARA**]（14, 19）
⑰ タイトル／ディスプレイボタン [**TITLE/DISPLAY**](23)
⑱ タイトル／インプットボタン[**TITLE/INPUT**](21, 23)
⑲ タイトル／サーチボタン[**TITLE/SEARCH**](24)
⑳ トラックセットボタン[**TRACK SET**](11, 16)
㉑ ディスク(−/+)ボタン[**DISC (−/+)**](14, 20, 24)
㉒ 頭出し(前方向)ボタン [**▶▶I**]（11）
㉓ 頭出し(後方向)ボタン [**I◀◀**]（11）
㉔ ランダムボタン [**RANDOM**]（18）
㉕ 再生ボタン [**▶**]（11）

リモコン操作の範囲



リモコンは本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。本体前面部からの距離は、7m以内、また、リモコン受光部を基準にして、左右30度までの範囲で操作します。

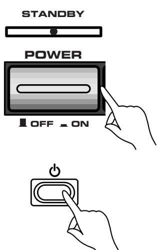
- リモコンを操作できる範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所をかえるか、蛍光灯から離してください。
- 本体受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの上に本などを置くと、ボタンが押され続けて、電池が消耗してしまいますのでご注意ください。

ディスクの入れかた（操作する前に必ずお読みください。）

ラックへディスクを入れる

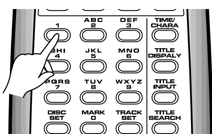
- ラックの中に番号があり、その番号がディスク番号となります。時計回りに1〜300番となります。
- **下記手順は、1枚目から順にディスクを入れる説明です。**

1 電源スイッチを押す。



- **スタンバイインジケーターが消灯している場合：**
  本体の電源スイッチを押してください。
- **スタンバイインジケーターが点灯している場合：**
  リモコンのスタンバイ/オンボタンを押してください。

2 表示部にディスク番号の"1"が表示されているか確認する。

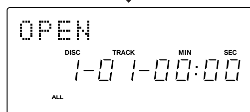


ディスク番号の"1"が表示されていない場合は、数字ボタンの"1"を押して"1"に合わせます。

この操作のあと、5秒以内に手順3の操作を行ってください。

3 アンロードボタンを押す。

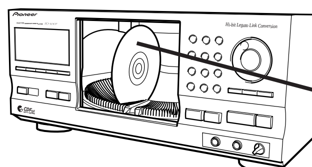




表示されているディスク番号が中央に来て、フードが開きます。

- フードが開閉するとき、指をはさまないようにご注意ください。

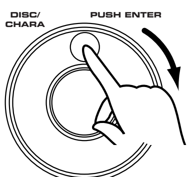
4 レーベル面(印刷面)を右側にしてディスクを入れる。



レーベル面を右側にする。（演奏面を左側にする）

- ディスク挿着溝にディスクを1枚ずつ入れてください。2枚以上入れると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。
- ディスクのレーベル面が左側で挿入されていると再生できません。必ずレーベル面を右側にしてください。
- 8cmディスクはそのままでは演奏できません。8cmディスク用アダプターに取り付けてから挿着溝に入れてください。
- ディスクを取り付けていない8cmディスク用アダプターは挿着溝に入れないでください。故障の原因になります。

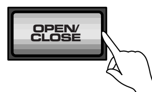
5 ジョグダイヤルを回してラックを回転させる。



右に回すと、ディスク番号1,2,3...の方向へ回転します。
左に回すと、その反対方向に回転します。

6 4、5を繰り返して、ディスクをラックの中に入れる。

7 オープン／クローズボタンを押す。



フードが閉まり、ラックを1周させてからディスクの有無を検知します。**（ディスク有無判別機能）**

オープン／クローズボタンとアンロードボタンの違いについて

オープン／クローズ： フードの開閉のみ行います。
アンロード： 表示部に表示しているディスク番号が手前にくるように回転し、フードを開きます。

⚠注意

製品内部には絶対に手や物を入れないでください。



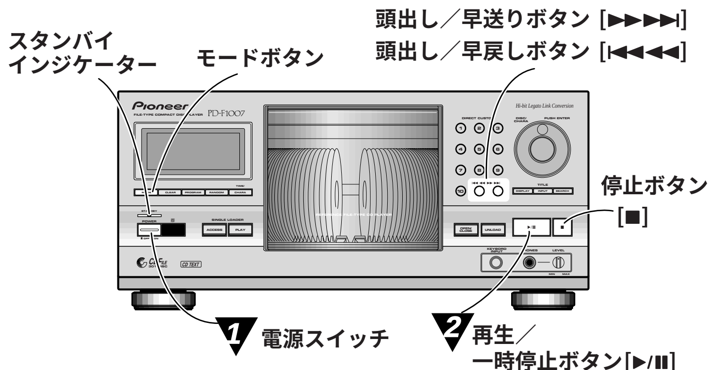
- **ラックにディスクを入れるときには、本体やリモコンのボタンを押さないでください。ラックが動いてディスクとフードに指がはさまれ、ケガの原因になります。**
- **ラックにディスクを入れるときには、ラックが動かないようにしてください。**
- **ラックの内部にはディスク以外の物を入れないでください。**
- 無理にフードを開けないでください。
- ディスクの有無の判別が終了する前に以下の演奏操作を行うと、ディスクの有無を判別せずに演奏動作に移ります。この場合は、演奏終了後にディスクの有無を判別を行います。
  1曲目から順番に演奏、ベスト演奏、ハイライトスキャン、プリビアスディスクスキャン。
  また、ディスクの形状や色などにより、正しく検知できない場合があります。
- 出し入れしたいディスク番号の挿着溝がフードから見えている場合は、以下の手順でディスクの出し入れができます。
  1. オープン／クローズボタンを押してフードを開ける。
     フードが開くと、“ HOLD ” が表示されます。
  2. フードから見えているディスク番号の挿着溝へディスクを出し入れする。
  なお、“ HOLD ” が表示されている間でも、ジョグダイヤルを回してラックを回転させることができます。
- 本機を移動する場合は、ラック内のディスクをすべて取り出し、電源スイッチをオフ（スタンバイ）にして“ OFF ” 表示が消灯してから、電源コードを抜き、移動してください。

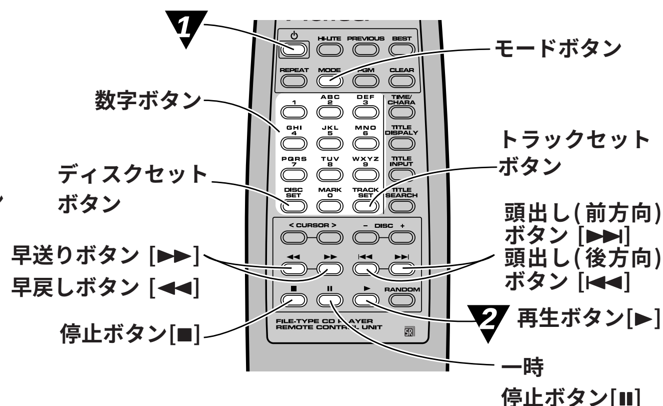
ディスクを取り出すには…

1. **アンロードボタンを押す。**
2. **本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのディスク(－/＋)ボタンを押して取り出すディスク番号を選ぶ。**
   ラックが回転し、取り出すディスク番号が手前に来ます。
3. **ディスクを取り出す。**
4. **オープン／クローズボタンを押す。**
   フードが閉まります。

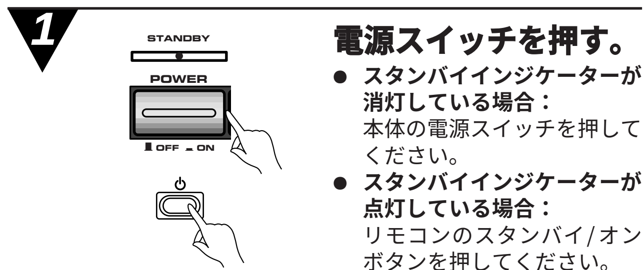
基本操作

● リモコンでも操作できます。





1曲目から順番に聞く



電源スイッチを押す。

- **スタンバイインジケーターが消灯している場合：**
  本体の電源スイッチを押してください。
- **スタンバイインジケーターが点灯している場合：**
  リモコンのスタンバイ/オンボタンを押してください。

電源を切るには

本体の電源スイッチまたはリモコンのスタンバイ/オンボタンを押してください。



再生／一時停止ボタンまたは再生ボタンを押す。

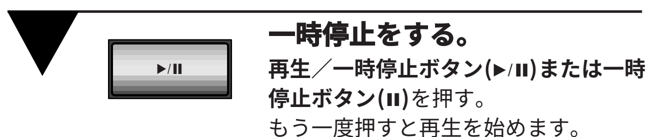
ディスク番号の小さなディスクの１曲目から順に再生します。

- あらかじめ演奏の種類を選択すると、それに応じた演奏ができます。（右側参照）
- CD テキストディスクの演奏中は、自動的にディスク、曲、アーティストの名前がそれぞれ記憶され、表示されます。（カタカナは表示されません。）
- CD テキストディスクの演奏中にタイトル/ディスプレイボタンを押すと、表示を切り換えることができます。 P.19



演奏を止める。

停止ボタン(■)を押す。



一時停止をする。

再生／一時停止ボタン(▶/II)または一時停止ボタン(II)を押す。
もう一度押すと再生を始めます。



曲の頭出しをする

I◀◀◀◀ ▶▶▶▶I **ボタン**を短く押す。
（リモコンは頭出しボタン）



早送り、早戻しをする。

I◀◀◀◀ ▶▶▶▶I **ボタン**を押し続ける。
(リモコンは早送り、早戻しボタン)

ディスクおよび曲番号の選びかた



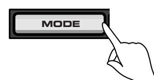
数字ボタンでディスク番号を選びディスクセットボタンを押す。

本機を2台接続した場合のディスク番号は、親機が1～300番となり、子機が301～600番となります。



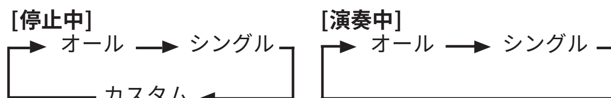
数字ボタンで曲番号を選びトラックセットボタンを押す。

演奏モードの選びかた



停止中か演奏中にモードボタンを押す。

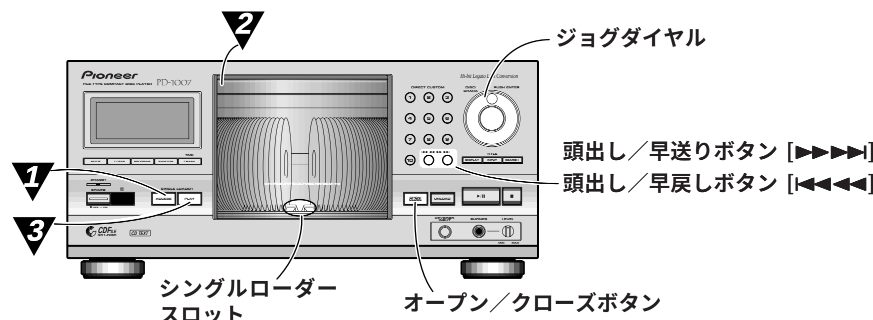
押すごとに演奏モードが変わります。
選ばれたモードで演奏ができます。



オール(ALL)：
全てのディスクの演奏(シングルローダー部は含みません)
シングル(SINGLE)：
ディスク１枚のみの演奏
カスタム(CUSTOM)[1-10]：
カスタムファイルに登録したディスクを演奏(カスタムの登録のしかたは14ページを参照ください。また、演奏中には選べません。)

注意

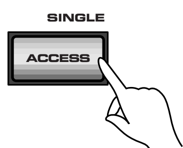
- 演奏中にシングル（SINGLE）を選んだ場合、現在演奏しているディスクのみの演奏を行います。
- プログラムモードで**モードボタン**を押すと、プログラム内容は解除されます。
- 電源を入れると最後に選ばれた演奏モード（オール、シングル、カスタムのいずれか）で演奏が始まります。
- 演奏モードを選ばずに演奏すると､オール (ALL) で演奏します。
- シングルローダー部のディスクを演奏すると、自動的にシングル (SINGLE) になります。



ラックにセットされていないディスクの演奏のしかた

友達から借りたディスクなど、ラックにセットされていないディスクを聞く時には、シンルグローダースロットでディスクの演奏を行います。

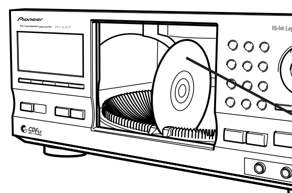
1



シングルローダーアクセスボタンを押す。

シングルローダースロットを手前にしてフードが開きます。

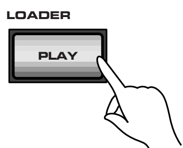
2



レーベル面を右側にする。
（演奏面を左側にする）

レーベル面(印刷面)を右側にしてシングルローダースロットにディスクを入れる。

3

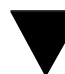


シングルローダープレイボタンを押す。

演奏モードはシングル(SINGLE)に設定されます。

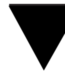
- シングルローダースロットのディスクは、**ジョグダイヤル**でも選ぶことができます。
  ジョグダイヤルでディスク番号300の次は、ディスク番号0となり、表示部には、"PO"と表示します。
- シングルローダースロットのディスクを演奏するには、リモコンの**数字ボタンの"0"**を押し、すぐに**ディスクセットボタン**を押してください。
- すでに、シングルローダースロットにディスクが入っているときは、**シングルローダープレイボタン**を押すと、いつでも演奏できます。また、ラック内の他のディスクを演奏中でも、シングルローダープレイボタンを押すと、シングルローダースロットのディスクの演奏に変わります。
- 本機を2台接続して使用している場合、子機にセットされたディスクのディスク番号は301～600番となります。
  また、子機のシングルローダースロットの操作は、親機本体やリモコンの操作で行うことはできません。子機のシングルローダースロットの操作は、子機本体で行ってください。

演奏中のフードの開／閉



演奏中に、オープン／クローズボタンを約2秒間押し続ける。

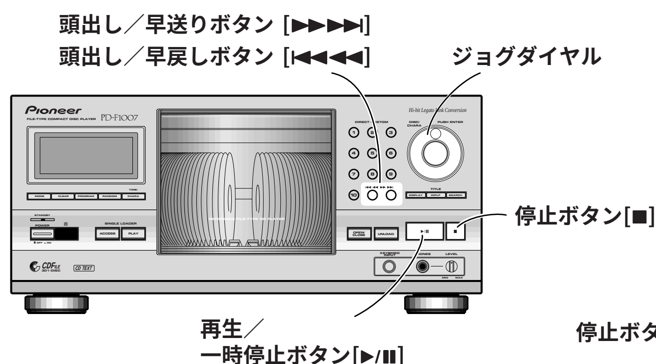
- フードが開いた後、“ **HOLD** ”と表示します。
- この場合、ラックは回転しません。
- ディスクの演奏を終了すると、停止状態になります。次のディスクを演奏するには、オープン／クローズボタンを押して、フードを閉めた後、演奏してください。
- フードが開閉するとき、指をはさまないようにご注意ください。

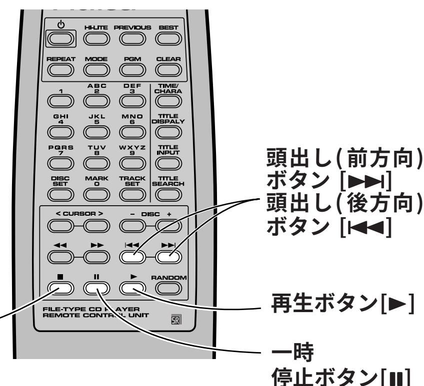


フードを閉めるには、再びオープン／クローズボタンを押す。

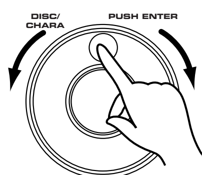
注意

フードが開いているときの演奏中には、**アンロードボタン**、**シングルローダーアクセスボタン**は使用できません。





希望のディスクから演奏する



演奏中か一時停止中にジョグダイヤルを回して、ディスク番号を選ぶ。

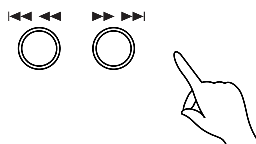
一時停止中に選ぶときは、さらに再生／一時停止ボタンを押す。

● 指定したディスクの１曲目から演奏を始めます。

聞きたい曲から聞く

演奏中または停止中に、頭出し／早送りボタン[▶▶▶▶|]または頭出し／早戻しボタン[|◀◀◀◀]を押して聞きたい曲番号を選ぶ。

（リモコンは**頭出し(前方向)ボタン(▶▶|)**または**頭出し(後方向)ボタン(|◀◀)**を押す。）



● 停止中のときは選曲後、**再生**／**一時停止ボタン**（▶/II）または再生ボタン（▶）を押すと、演奏を始めます。

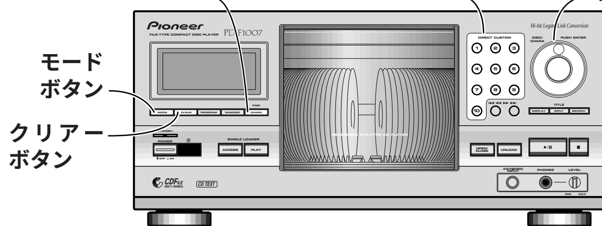
ラストディスクメモリー

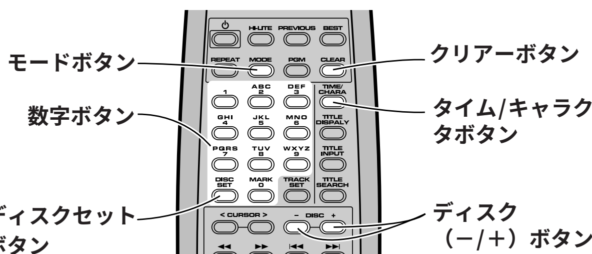
通常演奏中に**停止ボタン(■)**を押すか電源を切ると、本機はそのときに演奏をしていたディスクを記憶します。
再び**再生**／**一時停止ボタン(▶/II)**を押すと、記憶したディスクから演奏します。
（プログラム演奏、ベスト演奏、プリビアスディスクスキャン、ハイライトスキャン、ランダム演奏では、記憶しません。）

基本操作

応用操作

- リモコンで操作すると便利です。
- **（　）の中の操作は、本体での操作です。**

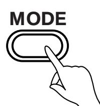




聞きたいディスクだけ登録して演奏する（カスタム演奏）

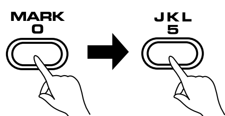
本機では、お好みに応じてディスクを300枚まで登録できます。たとえば、好きなアーティストのディスクや自分専用のディスクだけを登録しておくと、登録したディスクのみ演奏することができます。また、登録後も新たに追加登録できます。
登録できるカスタムファイルの種類は1～10番の10種類です。
操作例：カスタムファイルの5番にディスク番号3と12のディスクを登録する。

1 停止中にモードボタンを押してカスタムモードにする。

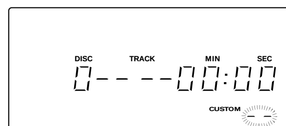


（ MODE ）

2 リモコンの数字ボタンでカスタムファイルの番号を選ぶ。



（ 5 ）

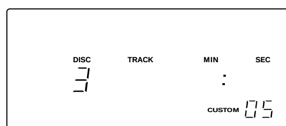


点滅

- ディスク番号が表示されている場合、**クリアーボタン**を押してください。
- 演奏中に、本体の**ダイレクトカスタムボタン**の"5"を押しても選ぶことができます。

3 リモコンの数字ボタンでディスク番号を選ぶ。



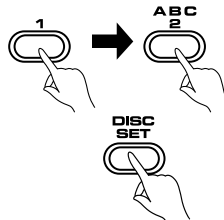


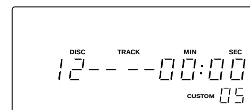
- **ディスク(－／＋)ボタンまたは本体のジョグダイヤル**でもディスク番号を選ぶことができます。この場合、約2秒後にカスタム登録されますので、手順 4 の操作は必要ありません。

4 ディスクセットボタンを押す。

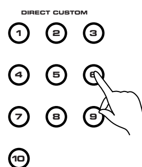


5 手順 3 と 4 を繰り返し、他のディスクを登録する。





演奏するには



ダイレクトカスタムボタンを押して聞きたいカスタムファイルの番号を選ぶ。

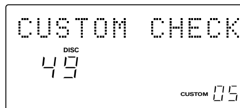
ディスク番号の小さなディスクから順に演奏します。

- 演奏中に**ダイレクトカスタムボタン**を押すと、そのディスクをカスタム登録することができます。

登録したディスク番号を確認するには

リモコンで操作します。
カスタムモードのときに、**タイム/キャラクタボタン**を押して、カスタムチェック表示にします。
カスタムチェック表示にしたら、**ディスク（－/＋）ボタン**を押します。押すごとに、登録したディスク番号を番号順に表示します。すべてのディスク番号を表示すると、ディスク番号は表示しなくなります。
（本体の場合は、ジョグダイヤルを回します。）

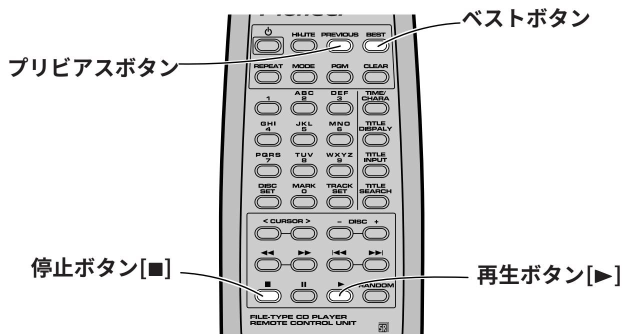
カスタムチェック表示



カスタムモードのときに、本体のクリアーボタンを押すと、表示されているディスク番号がカスタムファイルから削除されます。

- カスタム演奏中に**ジョグダイヤル**を回すと、カスタムファイルに登録したディスクの範囲で、演奏ディスクが変わります。
- カスタム演奏中に、リモコンの**数字ボタン**や**ディスクセットボタン**でカスタムファイルに登録していないディスクを選んだ場合、**“NO DISC”**を約3秒間表示します。
- カスタムで指定したディスクがラックに入っていない場合は、**“NO DISC”**を約3秒間表示します。そのディスクの内容は消え、次のディスクに変わります。
- カスタムファイルに登録した内容は、電源をオフ（スタンバイ）にしても消えません。
- カスタムファイルに登録した内容は、電源コンセントを抜いても、約1ヶ月間（使用状態により異なります）は保存されます。これは、停電などしても、記憶内容を消さないためです。**（メモリー・バックアップ機能）**
- 本機を2台接続して使用している場合は、登録できるカスタムファイルの種類は1～20番となります。ただし、1～10番は親機のディスクからの登録となり、11～20番は子機のディスクからの登録となります。

- リモコンのみの操作となります。
- **シングルローダースロットに入れたディスクには、これらの機能は働きません。**



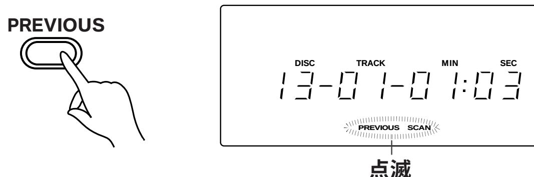
最近聞いたディスクを知る（プリビアスディスクスキャン）

- 最近聞いた順にディスクを並べ変えて約10秒間ずつ演奏します。
- 最大20枚記憶します。20枚をこえると古い順に消えます。

例）1枚目、2枚目、9枚目、12枚目、13枚目の順に演奏したとき

演奏中にプリビアスボタンを押す。

- 13枚目、12枚目、9枚目、2枚目、1枚目の順（最近に聞いた順）に各ディスクの１曲目の１分後を約10秒ずつ演奏します。



聞きたいディスクで再生ボタンを押す。

- プリビアスディスクスキャンは解除され、通常演奏になります。
- 本体では**再生／一時停止ボタン(▶/II)**を押します。

注意

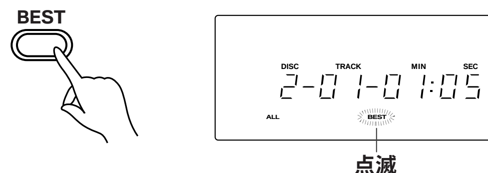
- 解除するには**停止ボタン(■)**を押してください。
- ランダム演奏、プログラム演奏、ベスト演奏、ハイライトスキャン、シングルローダーで演奏されたディスクは、プリビアスディスクスキャンには含まれません。
- 1分より短い曲は曲の始めから約10秒間演奏します。また1曲が10秒よりも短いものでは、曲の初めから最後まで演奏します。
- 記憶した内容は、電源コンセントを抜いても、約1ヶ月間（使用状態により異なります）は保存されます。これは、停電などしても、記憶内容を消さないためです。**（メモリー・バックアップ機能）**

気に入った曲だけを記憶させる（ベストセレクションメモリー）

好みの曲を演奏しているときにベストボタンを押すだけで記憶します。最大50曲まで記憶できます。

好みの曲を演奏しているときにベストボタンを押す。

“BEST”インジケーターが点滅してディスク番号、曲番号を記憶します。



＜記憶した曲を聞くとき（ベスト演奏）＞

停止中にベストボタンを押す。

“BEST”インジケーターが点灯します。新しく入力した曲から順に演奏します。

注意

- ベスト演奏中に**クリアーボタン**を押すと演奏中の曲を解除して次の曲を演奏します。
- 本機を2台接続しているときに、子機でベスト演奏を解除するには、子機本体の**クリアーボタン**を押してください。
- ベスト演奏中にさらに曲を記憶させることはできません。
- ベストメモリーに50曲登録されている状態のときにさらに曲を記憶させると、最も古い曲から上書きされていきます。
- 記憶内容は電源がオフ（スタンバイ状態）のときでも保持されます。
- 記憶した内容は、電源コンセントを抜いても、約1ヶ月間（使用状態により異なります）は保存されます。これは、停電などしても、記憶内容を消さないためです。**（メモリー・バックアップ機能）**

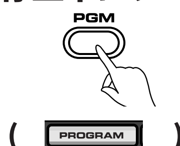
プログラムボタン
ジョグダイヤル
クリアーボタン
停止ボタン[■]
再生／一時停止ボタン[►/❚❚]
クリアーボタン
ディスク（－/＋）ボタン
停止ボタン[■]

好きな順番で演奏する（プログラム演奏）

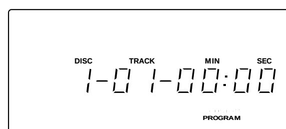
- リモコンで操作すると便利です。
- 最大36ステップまでプログラムできます。
- （　）の中の操作でも同じように操作できます。

操作例）第１ステップに2枚目の7曲目を、第2ステップに5枚目の3曲目をプログラムする。

1 停止中にプログラムボタンを押す。

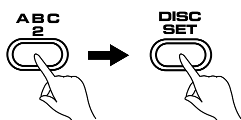


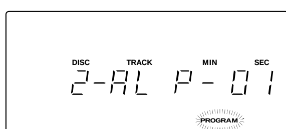
（PROGRAM）



2 数字ボタンでディスク番号を選び、ディスクセットボタンを押す。

（**ディスク（－/＋）ボタン**またはジョグダイヤルでディスク番号を選び、プログラムボタンを押してプログラムすることもできます。）





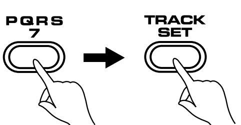
（－ DISC ＋ → PGM）

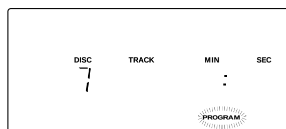
"PROGRAM"が点滅します。

この操作のあと、5秒以内に手順 3 の操作を行ってください。

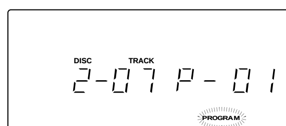
3 数字ボタンで曲番号を選び、トラックセットボタンを押す。

（本体の頭出し／早送りボタン [►►►►❙]または、頭出し／早戻しボタン [❙◄◄ ◄◄]で曲番号を選ぶこともできます。）



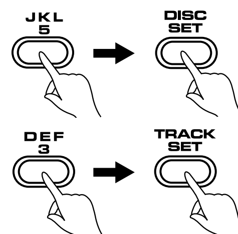


（❙◄◄ ◄◄　►► ►►❙ → PGM）



4 手順 2 と 3 を繰り返し、他のディスクと曲をプログラムする。

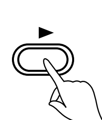
プログラムした曲の合計時間の計算を終了すると、PGMが点滅しなくなり、下図のようになります。（積算時間）



MIN SEC
P-02 13:04
PROGRAM

（－ DISC ＋ → ❙◄◄ ◄◄　►► ►►❙ → PGM）

5 再生ボタンを押す。



先にプログラムされた曲から演奏されます。

（►/❚❚）

次の操作は通常演奏中、ハイライトスキャン中、プリビアスディスクスキャン中だけできます。

＜演奏中の曲をプログラムする＞（ダイレクトプログラム）

1.**プログラムボタン**を押す。
- プログラムモードになります。

2.演奏中に**プログラムボタン**を押す。
- 演奏中の曲をプログラムします。

＜演奏中にプログラムする＞（予約プログラム；リモコンのみ）

演奏中にプログラムできます。
（手順 1 2 3 4 を行ってください。）

- 曲が終了すると、プログラム演奏に変わります。（通常演奏中）
- すぐにプログラム演奏に変えるには、**再生ボタン(►)**を押します。

次ページに続きます ➡

次の操作は停止中だけできます。

＜ディスク１枚を１ステップとしてプログラムする＞
（ディスクオールプログラム）
操作手順の3を飛ばすと、１ステップ目は２枚目のディスクの全曲がプログラムされます。（停止中のみ）

＜一時停止をプログラムする＞（ポーズプログラム：リモコンのみ）
手順4でリモコンの**一時停止ボタン(II)**を押すと、ディスク番号のかわりにポーズをプログラムすることができます。**一時停止ボタン(II)**を押すと、ディスク番号のかわりに“ＰＡ”と表示します。

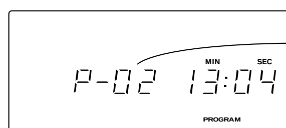
- 例えば、カセットテープの両面に録音する場合にポーズをプログラムします。テープの片面に録音する最後の曲の後に、**一時停止ボタン(II)**で一時停止するようにプログラムします。テープの面をかえた後、**一時停止ボタン(II)**を押すと録音が再開できます。

ご注意：
- ポーズプログラムは、第1ステップ (P-01) または、2回続けて入力できません。
- ポーズをプログラムすると、1ステップとして数えるので、プログラムできる曲数はその分減っていきます。

＜入力済みのプログラムを取り消すには＞
演奏中に**停止ボタン(■)**を2回押す（停止中は１回）。演奏中または停止中に**モードボタン**、**ランダムボタン**、**プリビアスボタン**または**シングルローダープレイボタン**を押す。
停止中は、**ベストボタン**を押しても取り消せます。

＜プログラムを１曲ずつ削除する＞
停止中に**クリアーボタン**を押すごとに、プログラムが最終ステップから順に消えていきます。

＜プログラムしたステップ数を確認する＞
タイム/キャラクタボタンを押す。



プログラムのステップ数を表します。

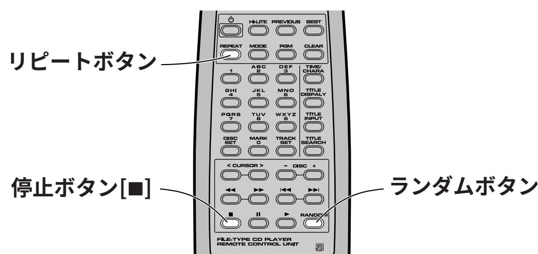
- 演奏中にプログラムしたディスクがないか裏返しのとき“**NO DISC**”の表示後、そのステップを自動削除して次のステップに移ります。
- プログラムした内容は、電源がオフ（スタンバイ）のときでも保持されます。
- 記憶した内容は、電源コンセントを抜いても、約1ヶ月間（使用状態により異なります）は保存されます。これは、停電などしても、記憶内容を消さないためです。**（メモリー・バックアップ機能）**
- 積算時間表示をする前に手順5の操作を行うと、プログラム演奏が始まり、時間表示はしません。
- 手順4のあとにアンロードボタンを押すと、第1ステップにプログラムされた曲の収録されているディスクが手前に移動して、フードが開きます。
- プログラムした曲の総演奏時間の合計が100分を超えると、表示部には表示しません。

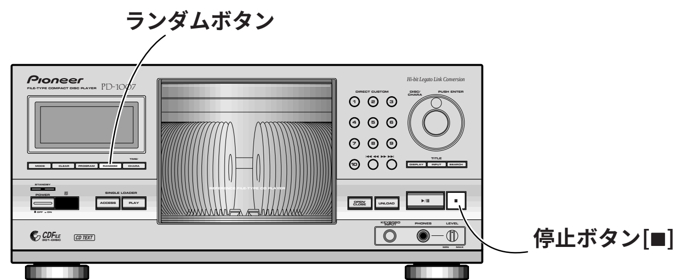
注意

本機を2台接続してのプログラム演奏の場合、以下のような制限があります。

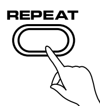
- 本機を2台接続して使用している場合のプログラム演奏は、2台のどちらか一方だけのプログラムおよびプログラム演奏となり、2台にまたがって行うことはできません。
- リモコンでプログラムする場合、1番目のディスク番号がP0または1〜300番のときは親機のプログラムとなり、301〜600番のときは子機のプログラムとなります、
- 子機のディスク番号P0をプログラムしたい場合は、子機本体で行ってください。
- 親機、子機の本体それぞれでプログラムした場合、再生/一時停止ボタンを先に押した方の本体からプログラム演奏します。先にプログラム演奏した本体の演奏終了後、もう一方の本体の再生/一時停止ボタンを押すと、もう一方の本体プログラム演奏を行います。
  また、リモコンの再生ボタンを押した場合は、親機からプログラム演奏を行います。

● （　）の中の操作は、本体での操作です。

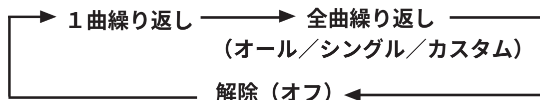




繰り返し演奏する(リピート演奏)



演奏中にリピートボタンを押す。押すごとに次のように切り換わります。



〔１曲繰り返し〕
通常演奏、ランダム演奏、プログラム演奏を問わず、現在演奏中またはこれから選曲されようとしている曲を繰り返し演奏します。

〔全曲繰り返し〕
演奏モード（11ページ)により次の３通りの動作となります。

オール（ALL）：
全てのディスク(１～300)の全曲を繰り返し演奏します。
シングル（SINGLE）：
選択したディスク１枚の全曲を繰り返し演奏します。
カスタム（CUSTOM）：
登録した全てのディスクの全曲を繰り返し演奏します。

〔解除（オフ）〕
繰り返し演奏を中止して通常演奏になります。

リピート演奏をやめるには、停止ボタン(■)を押します。

注意

● 全曲繰り返しのとき、"ALL"、"SINGLE"、"CUSTOM" のいずれも表示されない場合、現在演奏している演奏の種類（ プログラム演奏、ベスト演奏、プリビアススキャン、 ハイライトスキャン）を繰り返します。

順不同で演奏する（ランダム演奏）

演奏モードに応じてセットしたディスクに収録されている曲の中から、演奏する順番を無作為に選んで１回ずつ演奏します。
● 演奏モードを選択すると、下記の内容でランダム演奏します。ランダム演奏が終了すると停止します。

選択された演奏モード	演奏内容
オール（ALL）	全てのディスクでランダム演奏。
シングル（SINGLE）	ディスク１枚の中で全曲ランダム演奏。
カスタム（CUSTOM）	カスタムに登録した全てのディスクの中からランダム演奏。



（ RANDOM ）

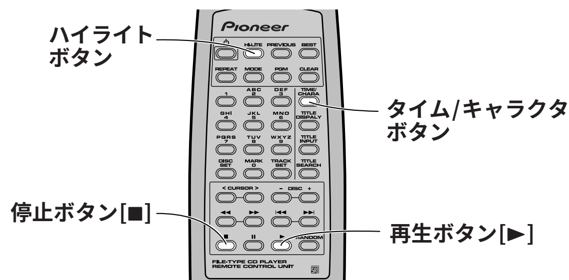
停止中にランダムボタンを押す。

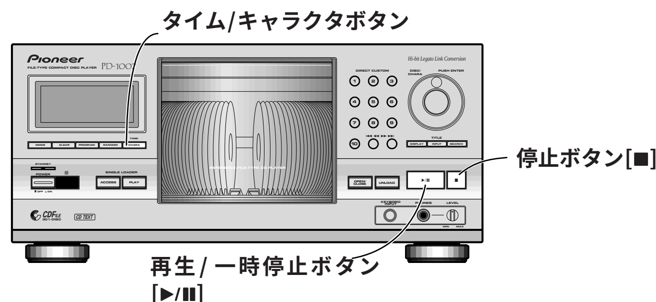
● "RANDOM"が点灯し、ランダム演奏が始まります。

ランダム演奏をやめるには、停止ボタン(■)を押します。

注意

● プログラム演奏をさらにランダム演奏することはできません。プログラム演奏のときにランダムボタンを押すと、プログラム演奏が解除され、全てのディスクでのランダム演奏になります。
● ラック内に入っているディスクすべてが、収録曲数25曲以下の場合にランダム演奏をすると、各曲を1回ずつ演奏して終了します。
● 26曲以上収録されているディスクがある場合にランダム演奏をすると、26曲目以降の曲は演奏されないことがあります。また、26曲目より前の曲が数回演奏されることがあります。
● ランダム演奏時にリピートボタンを押すと、選択された演奏モードの内容を繰り返し演奏します。（ランダムリピート）
● ランダム演奏時にモードボタンを押すと、選択された演奏モード（オール、シングルのいずれか）でランダム演奏します。
● 本機を2台接続して使用している場合、演奏モードで"ALL"を選んでランダム演奏をすると、先に親機のランダム演奏を行い、次に子機のランダム演奏を行います。
● ディスクの有無の判別が終了していない場合は、判別後、ランダム演奏になります。



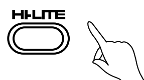


ディスクの中の曲をすばやく探す (ハイライトスキャン)

演奏の種類に応じてセットしたディスクに収録されている曲の１分後を約10秒ずつ演奏します。

- リモコンだけの操作となります。

<ディスクスキャン>

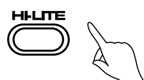


演奏中または停止中にハイライトボタンを押す。

- １枚目のディスクから順に、各ディスクの１曲目の初めから１分後を約10秒ずつ演奏します。

“DISC”と“SCAN”インジケーターが点滅します。

<トラックスキャン>



演奏中または停止中にハイライトボタンを2回押す。

- １枚目のディスクの１曲目から順に、各曲の初めから１分後を約10秒ずつ演奏します。

“TRACK”と“SCAN”インジケーターが点滅します。

<プログラムスキャン>



プログラムモード中にハイライトボタンを押す。

- プログラムした各曲の初めから１分後を約10秒ずつ演奏します。

“TRACK”と“SCAN”インジケーターが点滅します。

<ベストセレクションメモリースキャン>

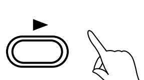


ベスト演奏中にハイライトボタンを押す。

- ベストボタンを押して記憶した曲を１分後から約10秒ずつ演奏します。

“TRACK”と“SCAN”インジケーターが点滅します。

<通常の演奏にするとき>



聞きたい曲で再生ボタンを押す。

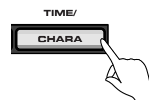
ハイライトスキャンを解除して通常の演奏になります。

- 演奏を止めるには**停止ボタン(■)**を押す。

注意

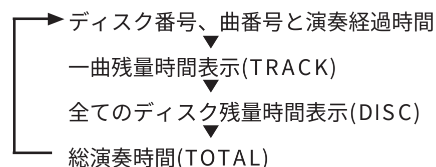
- トラックスキャン中に頭出しボタン（⏮ ⏭）で曲を飛び越すことができます。(本体は頭出し／早送りボタン(▶▶⏭)または頭出し／早戻しボタン(⏮◀◀))
- 全曲繰り返しにすると、ハイライトスキャンを繰り返します。
- １分より短い曲は、曲の初めから約10秒間演奏します。また１曲が10秒より短いものでは、曲の初めから最後まで演奏します。

表示を切り換える



演奏中にタイム/キャラクタボタンを押す。

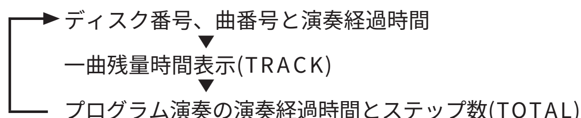
押すごとに次のように切り換ります。



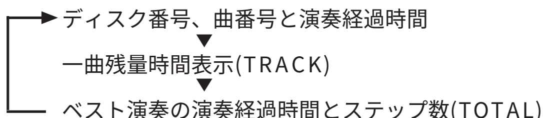
注意

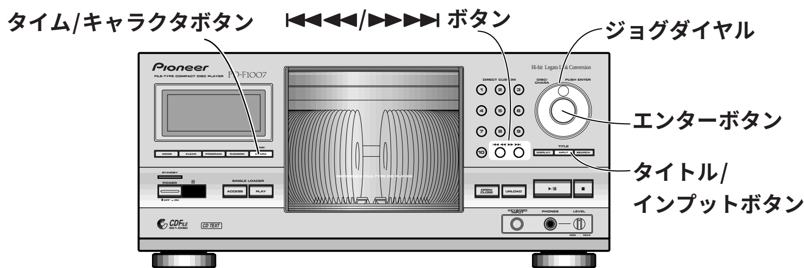
- 24曲目以降は、１曲の残り時間を表示しないことがあります。
- TOTAL時間表示はプログラムモードではプログラムステップまたはプログラムの総演奏時間となります。
- プログラム演奏中、ベスト演奏中、ランダム演奏中では、ディスクの残量時間表示はしません。

プログラム演奏をしているとき



ベスト演奏をしているとき





* 大切なメモリーの内容を消さないためにも、電源のオン、オフにはリモコンのスタンバイ/オンボタンの使用をおすすめします。
（電源がオフの時ときに、スタンバイインジケーターが点灯している状態であれば、メモリーの内容は消えません。）

ディスクタイトルとアーティストネームを入力する

本機ラック内にセットされているCDに、ディスクタイトルとアーティストネームを入力することができます。入力できる文字数は、アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号合わせて12文字までです。
文字を入力する方法は、本体のジョグダイヤルを使用して入力する方法と、リモコンの数字ボタンで入力する方法の2通りがあります。また、市販の、IBMコンピューターと互換性のあるPCキーボードを接続して入力することもできます。

● **本体のジョグダイヤルを使って入力する**

例）ディスク番号17のディスクに“BEST”とディスクタイトルをつける

1 ジョグダイヤルを回して、ディスク番号を選ぶ。
（例の場合は、ディスク番号17を選ぶ）

2 タイトル/インプットボタンを押す。

点滅

3 ジョグダイヤルを回して、入力する文字を選ぶ。
リモコンのディスク（－/＋）ボタンでも、同様に操作ができます。

A...Z (アルファベット)
1...9,0 (数字)
記号

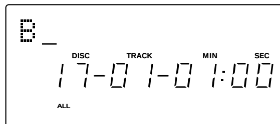
点滅

ディスクタイトルのはじめの文字の“B”が表示される。

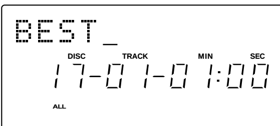
記号：
！" ＃ $ % & ' ( ) ＊ ＋ , ー .
/ : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } ~
■ （スペース/空白)

アルファベットの大文字と小文字を切り換えるには、**タイム/キャラクタボタン**を押します。

4 ジョグダイヤルのエンターボタンを押すか、▶▶ ▶▶⏭ボタンを押して、点滅している部分を右に移動させる。
リモコンのカーソルボタン（>）でも、同様に操作ができます。



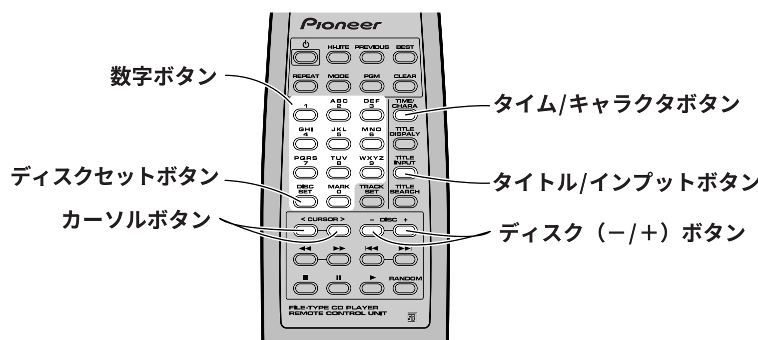
5 手順3と4を繰り返して、すべてのディスクタイトルの文字を入力する。
ディスクタイトル入力中は、表示部に“DISC”が点滅します。



6 タイトル/インプットボタンを押す。
アーティストネームの入力になります。

7 手順3と4を繰り返して、すべてのアーティストネームの文字を入力する。

8 タイトル/インプットボタンを押して終了する。



● リモコンの数字ボタンを使って入力する

1 1 → PQRS 7

ディスクタイトルをつけるディスクと同じ番号の数字ボタンを押す。

（左の図は、ディスク番号17を選んだ場合）

2 TITLE INPUT

タイトル/インプットボタンを押す。

ディスクタイトルをつけるディスクの演奏中に押します。ただしカスタム演奏中は、カスタムタイトルの入力となります。

3 ABC 2

入力したい文字が表記されている数字ボタンを押す。

入力できる文字は、押すごとに以下の様に切り換わります。

2 → A → B → C

4 <CURSOR>

カーソルボタン（>）押して、点滅している部分を右に移動させる。

● 次に入力する文字の数字ボタンが、いま押した数字ボタンと違う場合は、この操作は必要ありません。

5

手順3と4を繰り返して、すべてのディスクタイトルの文字を入力する。

6 TITLE INPUT

タイトル/インプットボタンを押す。

7

手順3と4を繰り返して、すべてのアーティストネームの文字を入力する。

8 TITLE INPUT

タイトル/インプットボタンを押して終了する。

例）“ PIONEER ”と入力する場合

操作手順		表示内容
1	TITLE INPUT を押す。	_
2	PQRS 7 を2回押す。	P
3	GHI 4 を4回押す。	PI
4	MNO 6 を4回押す。	PIO
5	CURSOR > を押す。	PIO_
6	MNO 6 を3回押す。	PION
7	DEF 3 を3回押す。	PIONE
8	CURSOR > を押す。	PIONE_
9	DEF 3 を3回押す。	PIONEE
10	PQRS 7 を4回押す。	PIONEER
11	TITLE INPUT を押す。	PIONEER

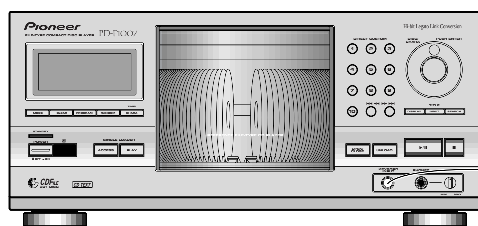
● 上記操作中に停止ボタン(■)を押すと、手順1の状態に戻ります。

以下の記号を入力する場合は、MARK 0 を押します。

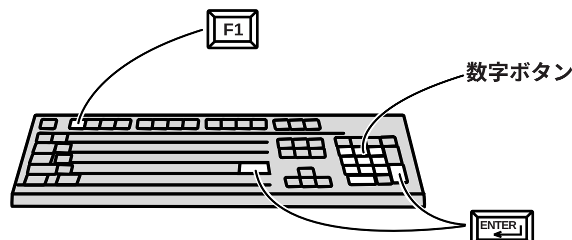
! " # $ % & ' ( ) ＊ ＋ , － . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { ¦ } ~
█ (スペース/空白)

大文字と小文字を切り換える場合は、タイム/キャラクタボタンを押します。

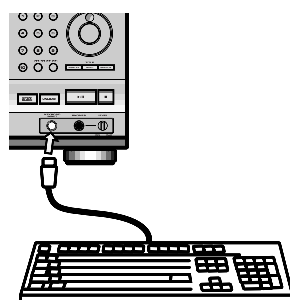
● CDテキストの場合は、ディスクタイトルの12文字までが自動的に本機に記憶され、ディスクを選ぶときに表示されます。
● CDテキストに自分でディスクタイトルを入力したい場合は、ディスクタイトルの頭文字をスペース（空白）にして、2文字目から入力します。ディスクタイトルの頭文字にスペース（空白）を入力しないと、ディスクを選んだときに、CDテキストのディスクタイトルに戻ってしまいます。
● 本機を2台接続して使用している場合は、それぞれのタイトル/インプットボタンでディスクタイトルの入力操作を行います。
● シングルローダースロットのディスクには、ディスクタイトルをつけることはできません。
● CDテキストの演奏中には、ディスクタイトルを入力することはできません。停止ボタン(■)を押して停止させてから操作を行ってください。



キーボード
接続端子



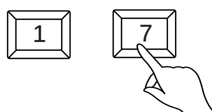
● **市販のキーボードを使って入力する**



本機のキーボード接続端子に、市販の、IBMコンピュータと互換性のあるＰＣキーボードを接続します。

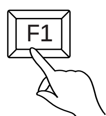
例）ディスク番号17のディスクに“ BEST ”とディスクタイトルをつける

1



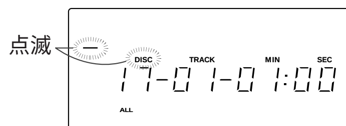
キーボードの数字ボタンの1と7を押す。

2

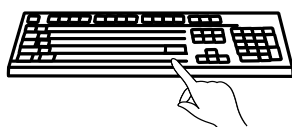


キーボードのファンクションボタン「F1」を押す。

点滅



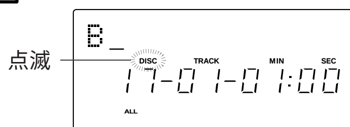
3



キーボードを使って直接文字を入力する。

（例の場合は“ B ”を押す。）

点滅

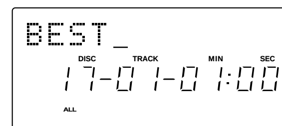


ディスクタイトルのはじめの文字の“ B ”が表示される。

入力する文字のアルファベットの大文字と小文字を切り換える場合は、**シフトキー**または**キーキャプス(caps)**を使用します。

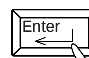
4

手順 3 を繰り返して、すべてのディスクタイトルの文字を入力する。



5





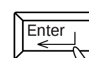
キーボードのファンクションボタン「F1」かエンターボタン(Enter)を押す。

6

手順 3 を繰り返して、すべてのアーティストネームの文字を入力する。

7





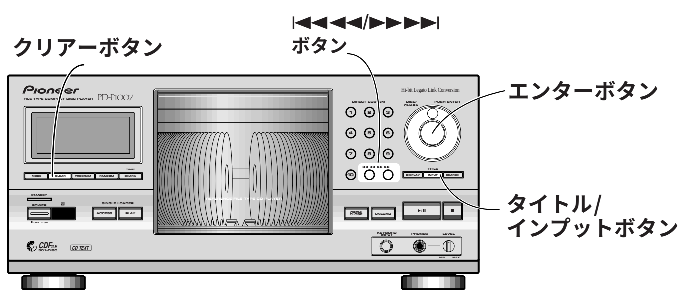
キーボードのファンクションボタン「F1」かエンターボタン(Enter)を押す。

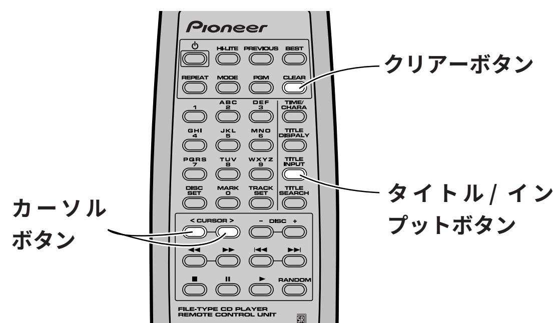
キーボードを使って入力できる文字の種類

文字、数字	: A 〜 Z, a 〜 z, 0 〜 9
記号	: ! “ # $ % & ‘ ( ) ＊ + , – . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` {	} ~ █ (スペース/空白)

注意

● 本機がディスクを選択している時やフードの開閉動作を行っているときには、キーボードによる文字の入力を行うことはできません。
● 本機を2台接続して使用している場合は、文字の入力中でももう１台の操作を行うことができます。





カスタムタイトルを入力する

カスタムモード中にタイトル/インプットボタンを押すと、カスタムタイトルを入力することができます。タイトルの入力方法は、20ページの「ディスクタイトルとアーティストネームを入力する」を参照して操作してください。
カスタムタイトルは、カスタムモードをセットしたときとカスタム演奏中に表示されます。

入力したタイトルを訂正する

間違えて入力したディスクタイトルを、後から削除したり追加したり訂正することができます。

● **間違えて入力した文字を削除する**

例）" BAEST "を" BEST "にする

1 修正したいディスクタイトルのディスク番号を選んでから、タイトル/インプットボタンを押す。

2 |◀◀ ◀◀または▶▶ ▶▶|ボタンを押して、点滅部分を削除したい文字の下に移動させる。

リモコンのカーソルボタンでも、同様に操作ができます。

BAEST 17-01-01:00 → BAEST 17-01-01:00

例の場合は" A "の下に移動させる。

3 クリアーボタンを押して文字を削除する。

4 タイトル/インプットボタンを押す。

● **文字を追加入力する**

例）" BET "を" BEST "にする

1 修正したいディスクタイトルのディスク番号を選んでから、タイトル/インプットボタンを押す。

2 |◀◀ ◀◀または▶▶ ▶▶|ボタンを押して、点滅部分を追加したい文字の位置まで移動させる。

リモコンのカーソルボタンでも、同様に操作ができます。

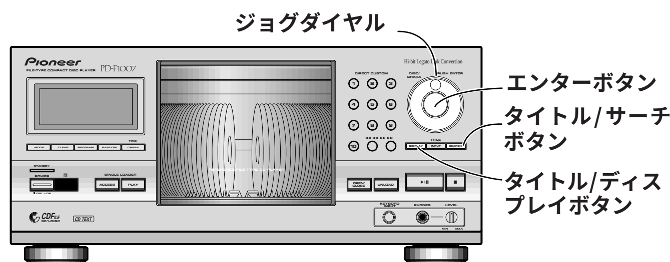
BET 17-01-01:00 → BET 17-01-01:00

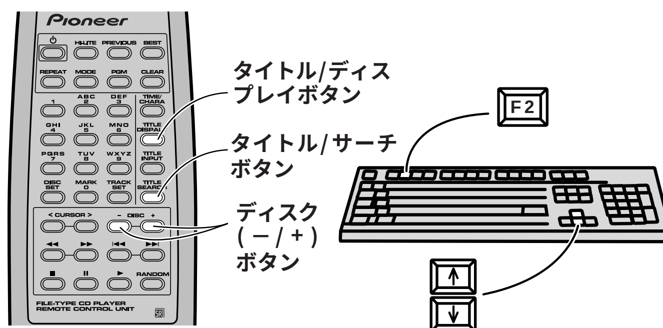
3 追加したい文字を入力する。

BES 17-01-01:00

4 タイトル/インプットボタンを押す。

応用操作

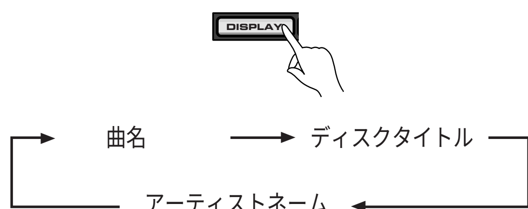




ディスクタイトルとアーティストネームの表示を切り換える

● CDテキストの場合

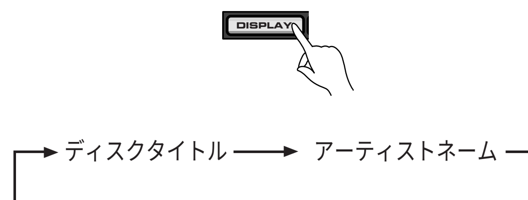
演奏を開始すると曲名が表示されます。数秒間表示した後に、スクロール表示を開始します。
タイトル/ディスプレイボタンを押すごとに、以下のように表示内容が切り換わります。



- CDテキストには、アーティストネームが入力されていないものもあります。
- 曲名、ディスクタイトル、アーティストネームのスクロール表示をした後は、曲名を表示します。
- CDテキストの曲名などにカタカナが使われている場合は、本機では表示されません。

● CDテキスト以外のディスクの場合

ディスクタイトルやアーティストネームが入力されている場合は、タイトル/ディスプレイボタンを押すごとに、以下のように表示内容が切り換わります。



- ディスクタイトルやアーティストネームのスクロール表示をした後は、ディスクタイトルを表示します。

ディスクタイトルやアーティストネームで目的のディスクを探す

ディスクタイトルやアーティストネームの頭文字で、目的のディスクを探すことができます。ディスクタイトルで検索することを「ディスクサーチ」といい、アーティストネームで検索することを「アーティストサーチ」といいます。

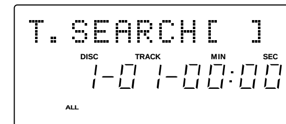
1



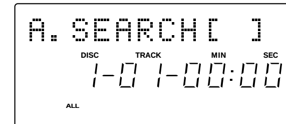
（F2）

タイトル/サーチボタンを押す。

ディスクサーチ：
タイトル/サーチボタンを1回だけ押す。



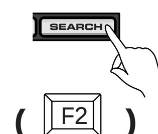
アーティストサーチ：
タイトル/サーチボタンを2回押す。



2

探したいディスクのタイトル（アーティストネーム）の頭文字を入力する。

3

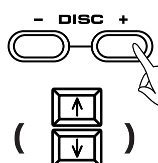


（F2）

タイトル/サーチボタンを押して検索する。

ジョグダイヤルのエンターボタンを押しても同様に操作できます。

4



（↑↓）

ディスク（－/＋）ボタンを押すごとに、検索を繰り返します。

ジョグダイヤルでも同様に操作ができます。

- 検索したディスクを演奏するときは、再生/一時停止ボタン[▶/II]またはジョグダイヤルのエンターボタンを押します。
- 検索中に5秒間なにも操作をしないと、タイトルサーチ（アーティストサーチ）は自動的に解除されます。
- タイトルサーチ（アーティストサーチ）は、演奏中でも操作をすることができます。
- ディスクタイトルやアーティストネームの頭文字が空白（スペース）の場合は、その次の文字で検索が行なわれます。
- 検索する頭文字をスペースにしてディスクサーチを行った場合は、ディスクタイトルの入力されていないディスクを探すことができます。

使用上のご注意

ディスクの取り扱いかた

■右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。



■ディスクの持ちかた

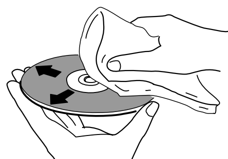
なるべく信号面にふれないようにしてください。

■保管

- 必ずケースにいれ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

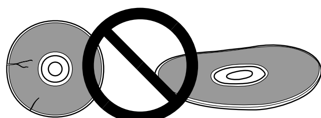
■ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。

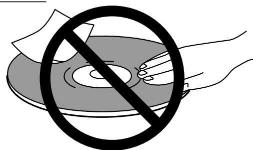


柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

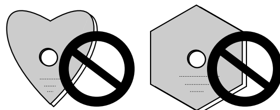
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤なども使用できません。
- ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。



- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。



- 特殊な形状のCDは使用しないでください。ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。
使用すると、故障の原因になります。



CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご使用を控えてください。

結露について

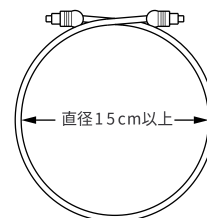


本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

市販の光ファイバーケーブル取扱上の注意



- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さが3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

応用操作

その他

故障？ちょっと調べてください

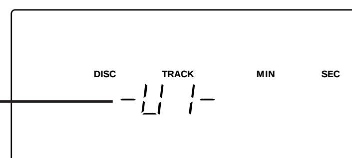
故障かな…？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　　状	原因と思われること	処　　置
音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切換が正しく選択されていない。 ● ディスクの裏表を逆にセットしている。 ● ディスクに汚れやくもりなどがある。 ● 本機が一時停止状態になっている。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。 ● ディスクのレーベル面（印刷のある面）を右側にし、正しくセットする。 ● ディスクをクリーニングする。 ● リモコンの再生ボタン(►)または本体の再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。
リモコンの再生ボタン(►)または本体の再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押しても演奏が始まらない。	● ディスクに大きなキズやソリなどがある。 ● フードが開いている。	● ディスクを交換する。 ● フードを閉める。
リモコンがきかない。	● リモコンの電池がなくなっている。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	● 新しい電池に換える。 ● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。
本機を２台接続しているときに子機が動作しない。	● 接続が間違っている。	● 「接続のしかた」を参照して、もう一度接続し直してください。

● 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

自己診断機能について

本機は自己診断機能を持っています。
本機をご使用中異常を検出すると、本体表示部に以下の表示（サービス番号）を自動的に表示します。まず、以下の表の**「対応のしかた」**にしたがってください。



サービス番号	本機の状態	対応のしかた
U1	ディスクがラックに正しくセットされていないと考えられます。	● ディスクを正しくセットし直してください。（各挿着溝には、１枚ずつディスクをセットしてください。） ● 異物がディスクに付着していないか確認してください。 ● ラックに異物が入っていないか確認してください。
U2	機構部の動作エラーです。	● ラックに異物が入っていないか確認してください。 ● 電源コードをコンセントに入れ直してください。
U3	フードに関するエラーが起きています。	● フードが何かに引っかかっていないか確認してください。 ● 電源コードをコンセントに入れ直してください。
再度、同じ表示が出た場合は機構部の異常と考えられます。修理を依頼されるときに、本体表示部のサービス番号をお知らせください。		

仕様

■一般

型式 .... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 13 W
スタンバイ時消費電力 .... 1 W
重量 .... 8.0 kg
外形寸法 .... 420（幅）×433（奥行）×193（高さ）mm

■オーディオ部

周波数特性 .... 2 Hz～20 kHz
SN比 .... 105 dB以上（EIAJ）
ダイナミックレンジ .... 98 dB以上（EIAJ）
全高調波歪率 .... 0.002%以下（EIAJ）
チャンネル間レベル差 .... 1.0 dB以下（EIAJ）
出力電圧 .... 2.0±0.3 Vrms（EIAJ）
ワウ・フラッター .... 測定限界（±0.001% W.PEAK)以下（EIAJ）
チャンネル数 .... 2チャンネル（ステレオ）
デジタル出力
光出力 .... －15 dBm～－21 dBm（波長660 nm）

■入出力端子

オーディオライン出力端子
CD･デッキシンクロ端子
光デジタル出力端子
ヘッドホン端子
マスター/スレーブコントロール入力/出力端子
スレーブライン入力端子
コントロール入力/出力端子
キーボード接続端子

■付属品

リモートコントロールユニット 1
単3形乾電池(AA/R6P) 2
コントロールコード 1
出力コード 1
保証書、ご相談窓口・修理窓口のご案内 各1
取扱説明書、安全上のご注意 各1

● 上記の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

● 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お求めの販売店または最寄りのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

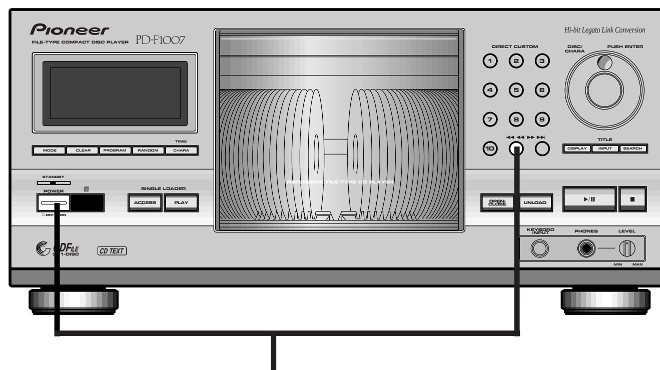
連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日（製品名：PD-F1007）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときの修理

お求めの販売店または最寄りのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

デモ表示について



パワーオンデモ表示

パワーオンデモ表示にすると、さまざまな表示を見ることができます。
パワーオンデモ表示にするには、電源を入れてから１秒以内に◀◀ ◀◀ボタンを押してください。パワーオンデモ表示は、いずれかのボタンを押すか、またはフードを開けたりすると、解除します。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

- ｶｰｽﾃﾚｵ／ｶｰﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ製品に関するお問合せ窓口　**0070-800-818111**
- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞﾃﾞｵ製品に関するお問合せ窓口　**0070-800-818122**
- カタログのご請求に関する窓口　**0070-800-818133**

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<99G00ZFS01>
<PRA1101–C>